

エノコジマ・ワークショップ・ラボ 「RE COLLECTIONS (リコレクションズ)」

[トップ](#) >> [イベント](#) >> [エノコジマ・ワークショップ・ラボ「RE COLLECTIONS \(リコレクションズ\)」](#)

このページの情報は、終了した事業に関するものです。

8月のエノコジマ・ワークショップ・ラボは、様々なモノを持ち寄り、ひとつの展覧会をつくりだすためのワークショップをおこないます。

参加者には手のひらサイズの「思い出のモノ」「今は使わなくなってしまったモノ」などを持ってきていただきます。そして、そのモノに宿るそれぞれの記憶や思い出をみんなに話し、みんなに手伝ってもらいながら、そのモノを喋らせましょう。みんなが話した内容はテープレコーダーで録音し、記憶や思い出を視覚化するために音によって明滅するLEDを使用した展示台を制作します。

後日、みんなが持ってきたモノとつくった展示台を使って、作家がひとつの展覧会をつくりあげます。バラバラに存在していたみんなの思い出や記憶を共有し、ひとつの作品・展覧会をつくりだすプロセスを体験しましょう。

ワークショップ

日時	2012年8月11日(土) 14:00~16:30 (30分前より受付開始)
会場	江之子島文化芸術創造センター2F ルーム8 アクセス
料金	1,500円(材料費) ※つくっていただいた展示台はその後の展覧会にて使用した後、お返しいたします。 センターまで直接取りにきていただくか、郵送料別途(実費)で返送いたします。
定員	10名(要事前申込)
対象年齢	小学校4年生以上~大人まで ※ただし、小学生の参加は保護者同伴でお願いします。
持ち物	手のひらサイズの「思い出のモノ」や「今は使わなくなってしまったモノ」をひとつ。 (注意事項) ・半透明や透明のものであると展示台のライティングの効果が分かりやすいです。 もちろん、不透明のモノでも構いません。 ・生き物、植物、食料などの生ものは不可。 ・壊れたら困るもの。多少穴をあけたりすることもあります。 ・しばらく展示をしても日常生活等に差し障りのないものにしてください。
講師	吉原啓太(美術作家)
申込方法	氏名、参加希望人数(1お申し込みにつき3名まで)、当日連絡のつく電話番号を明記のうえ、メールまたはFAXにてお申し込みください。 メール: art@enokojima-art.jp FAX: 06-6441-8151 ※いただいた個人情報は本お申込以外の目的には使用しません。
主催	大阪府立江之子島文化芸術創造センター

展覧会

展示作業日	8月12日(日) 13:00~17:00(センターエントランス付近にて) ※展示作業は基本的に作家が行いますので参加必須ではありませんが、ワークショップ参加者でご都合がつく方はぜひご参加ください。
展覧会会期	8月14日(火)~8月25日(土) 16時まで
作品引き取り期間	8月25日(土) 16時以降~9月末まで
引き取り場所	センター受付にてお申し出ください。 ※遠方からご参加の方は郵送料別途(実費)をワークショップ時にお預かりし、26日以降に送付いたします。

(講師プロフィール)

▼ **吉原啓太(美術作家)**



1981年大阪生まれ。

2009年京都精華大学大学院洋画コース修了。

自身が出会った環境や状況、そこで出会う人々との関係についての模索を行っている。また、近年ではアーティスト、ミュージシャンとの共同制作やコラボレーション作品を制作している。

主な展覧会に、2012年「re_processor」（此花メチア / 大阪）「Wonder Picnic Tour」（此花区梅香地区周辺 / 大阪）、2010年「出石芸術百貨街10」（出石町各所 / 岡山）、「さようならとはじめまして」（piaNPO / 大阪）、2009年「みっけ！このはな」（此花区梅香各所 / 大阪）、「Art Camp 2009」（Gallery Yamaguchi Kunst-Bau・サントリーミュージアム / 大阪）「CARPET AREA」（くずはアートギャラリー / 大阪）

サイトポリシー	> enocoについて	> クリエイティブルーム	> enocoのプロジェクト	Like 943 ツイート	
指定管理者	> フロアガイド	> サポーター募集	> enocoの学校		
バナー広告募集	> enocoのつかい方	> メールニュース登録	> 大阪府20世紀コレクション		
プレスリリース	> 空き状況	> Q&A	> ライブラリー		
	> アクセス	> お問い合わせ	> サポーターものづくりルーム		
		> プラットフォーム 形成支援事業			